



あけまして おめでとうございます



潮 騷

第 31 号
平成23年
1月 1日

財団法人 日本殉職船員顕彰会
〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目五
海事センタービル
電話 〇三-三三三三-〇六六二
FAX 〇三-三三三三-〇六八二

日本殉職船員顕彰会

会長 鈴木邦雄

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、さわ
やかな新春をお迎えのことと、心か
らお慶び申し上げます。

旧年中は、賛助会員、協賛会員な
らびに関係者の皆様には、本会の事
業運営に多大なご支援ご協力を賜
り、おかげさまをもちまして事業も
滞りなく実施できましたことを、改
めて厚く御礼申し上げます。

昨年の戦没・殉職船員追悼式は、
第40回の節目にあたり、天皇皇后両
陛下の行幸啓を仰ぎ、全国から多く
の皆様が参列され、大変感銘を受け
た式典でありました。ご遺族はじめ
関係者の皆様には心に残る一年であ
ったものと存じます。

顧みますと、戦没船員6万余人も
の尊い犠牲者を生じさせた先の大戦
から66年が経過いたしました。ご遺
族は高齢化し、子供から孫へと世代
が移行し、戦争体験者の減少も相ま
つて風化が進んでいます。ややもす

お知らせ

○第41回戦没・殉職船員追悼式
日時 平成23年5月12日(木)
午前11時開式

式場 横須賀市観音崎公園
「戦没船員の碑」にて

○戦時徴用船遭難の記録画展

会期 平成23年9月15日～25日
会場 大阪市立海洋博物館
「なにわの海の時空館」

ればあの悲惨な戦争によって祖国の
ために犠牲になった戦没船員への思
いも薄れようとしています。

わが国海運・水産業は大きく変貌
変りましたが、今日の発展と平和は、
尊い犠牲の上にあることを決して忘
れてはなりません。二度とあのよう
な悲惨な戦争を繰り返さないため
にも、改めて戦没船員への追悼と顕彰
の重要性を、広く国民に伝えること
が大切であると思います。

本会は、法人制度の改革に伴い、
4月1日から新たな「公益財団法人」
へ移行するため、昨年11月に認定申
請を行いました。新年を迎えて決意
も新たに戦没・殉職船員の慰霊・顕
彰と遺族援護事業に一層努力する所
存でございます。本年も旧年に変わ
らぬご支援ご協力を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。



猛暑のなか800人が来場した下関会場

昨年8月24日から31日まで
の8日間、山口県の下関市民
会館で開催した「戦時徴用船
遭難の記録画展」に延べ80
0人が来場しました。
全国的な猛暑に見舞われた
昨年の夏、初開催の下関市も
例にもれず、連日うだるよう
な日が続きました。終盤には
テレビ・新聞などの報道の協
力もあり盛況でした。
戦没船員ご遺族をはじめ、
夏休み中の子供たちや高校
生、大学生の姿も見られまし
た。来場の方々のアンケート
には、「戦争の悲惨さ、平和
の大切さが伝わりました」な
どの感想がつけられました。
紙面を借りて改めて感謝申し
上げます。
皆様から寄せられた感想の
一部は、後のページで紹介い
たします。

戦時徴用船遭難の記録画展



開催を知って大勢の市民が駆けつけた

下関市民会館

8000人來場

記録画展の会場は、JR下関駅から徒歩5分の下関会館で交通の便の良い所でした。35度を超す連日の猛暑にもかかわらず、8000人を超える皆さまが来場いたしました。今回もアンケートをお願いし、大勢の皆さまから回答をいただきました。その中から一部の方々を紹介いたします。

榑崎久美子さん 福岡市

母の父が日本郵船の船に乗っていて戦死しました。戦時中のことは母からいろいろ話を聞いていました。今日は母と姉、子どもと4人で絵を見にまいりました。子どもたちには見せられないかなと、ちよつと思いましたが、一緒に見られる絵でしたので良かったと思います。

大空フミ子さん 下関市



戦争を体験した一人として、徴用船の事実を身近に感じながら拝見いたしました。

昭和20年6月、北朝鮮の羅津から日本海を渡って新潟に着き、大変な思いで下関に帰りました。日本海で機雷に遭遇していたら、この絵のように海に沈んでいたのだと思います。身に沁みる思いです。

副田都史子さんご家族 太宰府市



写真ではとても見られない情景が絵画で表現されていて、当時の様子が少し理解できました。祖父は日本郵船でしたので、祖父の乗っていた船の事をもっと知りたいですね。

横田 尚さん 下関市

太平洋戦争における戦時徴用船の被害の状況は、学生の頃から書物などで多少の知識はあったものの、記録画から受ける悲惨な最期に瞠目するばかりです。

同世代の間では、戦艦「大和」など連合艦隊について知られています(とは言え小艦艇の知識は乏しい)、その何倍もの犠牲が、商船や漁船などの徴用船において生じたという事実を知る人はほとんどいません。それどころか、関門海峡そのものが、徴用船が撃沈に至るまでの過程といかに関連していたかについては、一部の研究者を除いてほとんど知られていないと思います。それだけに、顕彰会の皆様の活動には頭が下がるばかりです。

田坂和子さん 下関市



父は大正始めより大阪商船の機関長として乗船し、昭和19年に「鴨緑丸」で戦没するまで海に生きた人でした。乗った船は沢山あって、そのほとんどが沈んでいます。

ミッドウエー島へ兵員を運んだ時に敵の戦力の大きさを感じていたようです。山本五十六元帥と船中で会話をしたと言っていました。山本元帥が戦死されて一年半くらい経った時には覚悟していたようで、4人の子に松江まで会いにきて、爪と髪とを託して征きました。

今さら国に言っても仕方のないことですが、戦後の暮らしは本当に大変でした。母は一回も慰霊祭には行きませんでした。



宝幸トロールOBの上村勝恵さんⓂと仲間たち

藤村紀久正さん 下関市



父は昭和20年初頭、北支から南方への配置替えになり、ルソン島での戦闘で泳いで上陸（後日帰還した乗組員の話で判明）したようです。今回、記録画を見て、丁度同じような状況であったのではないかと感無量でした。二度とこのような戦争はお断りです。父「藤村守正」陸軍兵士、昭和20年5月29日没。

匿名希望

貴重な船舶が無謀無策な当時の政治によって失われた事実と船舶の規模がこれほど立派なものであったことに驚きました。

魚雷攻撃、空爆との戦い、火柱を上げて沈む船、避難と救援、皆と助け合いながら行っている様子、サメとの闘い、敵機乗組員にも救いの手をさしのべる様子まで描かれていることに感動しました。

「ぶえのすあいれす丸」は病院船だったのに攻撃を受けて、千数百人もの患者が遭難していたことに憤りを禁じえません。また、海中に漂う者をボートで救助する様子に感動し、死者1人とあるのには大変驚きました。何より無謀な戦争によって、なんと尊い人命と貴重な船舶が失われねばならなかったのか。このような戦争を二度とやってはいけないくづく思いました。

このような展示会はとても大切です。今後も続けてください。

坂井 敏男さん 山陽小野田市

海軍の戦死者率より商船乗組員の犠牲者の方が高いと聞いています。絵画から船員の高い使命感が伝わって胸がつまりました。やってはいけなかった太平洋戦争にいまさらながら心が痛みます。ご冥福を心よりお祈りいたします

一期崎さん姉妹 下関市



◎絵を見て、その時の気持ちが良い分かったし、昔にこんな悲しいことがあったことを知りました。鈴花さん(妹・小3) ◎大久保さんの絵を見て、戦争のはかなさを感じました。原爆についてのいろいろ調べたことがありますが、原爆以外にこんなにも悲惨なことがあったことを初めて知りました。大久保さんの絵はすごかったです。花純さん(姉)

吉村喜壽さん 下関市

兄はラバウルでマリアリヤにかかり、内地に送還された後、広島陸軍病院で亡くなりました(昭和19年7月15日)。この展示会でラバウル航路の病院船撃沈の記録画を見て「エッ、十字マークの船まで攻撃するのか」とショックを受けました。絵のすばらしさが、戦争の悲惨さを大変よく伝えていきます。こんな時

代があったというのを、いつまでも語り継ぐことは大事です。大変良い企画ですね。資料も整っており後でじっくり読ませていただきます。

弘中篤子さん 下関市

親戚に海軍の軍人がいて、グアム近海で亡くなっています。こんな生々しい絵を見ると気の毒に思うとともに、今の私たちの生活はこうした人びとの犠牲の上にあることを感じずにはられません。本当に戦争はあってはならないと思います。

山本大道さん夫妻 下関市

NHKテレビの取材に答える



祖父や父があまり話さなかった「おじ」の死亡がずっと気になっていました。「船はマニラ(リンガエ湾)で荷揚中に爆撃され、沈んだということを生還した人に聞いた」と祖父から聞いています。この記録画展で、もう少し詳しく知ることができればと思います。やってきました。何かわかれば幸いです。

田島嘉代子さん 下関市



全国海友婦人会で戦没・殉職船員追悼式によく出席される方から、記録画展の話をお聞きしていましたが、

が、実際に拝見して大変な時代だったことがよくわかります。今の時代では考えられないことです。主人もタンカーに乗船していましたが、良い時代の船乗りだったと思います。良い絵を拝見させて頂いていただきまし。多くの人が鑑賞して戦争の恐ろしさを知ってほしいですね。

福田鋼一さん 下関市

昭和17年3月生まれの家内の父は、輸送船の船長として戦死しました。貨物船の船長として穏やかな日々であったのに戦火が激しくなると軍に徴用され、南方の海に出て行ったとのこと。フィリピン沖で爆撃され、陸にたどりついて死んだという情報以外は何も分かりません。義母は同僚の伝を求めてあちこちと当時の様子を尋ね歩いたようです。

家内の上に2人の娘を残しました。家内には父の面影が残る写真以外何もありません。誕生間もない幼児ら家族を案じながら、死んだ義父の無念さを思うと残念でなりません。

終戦の時、私は10歳ながら立派な軍国少年でした。大人たちに不信がられながら65年あまり生きてきましたが、戦後は今もなお遺族には続いています。戦争は悪ですが、やむを得ず戦った人たち、その犠牲の上に今の日本があることを、国民は日々自覚して欲しいと思います。

片倉小十郎さん 下関市



昭和18年10月、陸軍少年飛行兵合格者(中学2、3年生)約60余人が「富士丸」に乗船、基隆港内で一泊して内地目指して出港した。「加茂丸」「鴨緑丸」「富士丸」の3隻の船団に護衛駆逐艦1隻、空に飛行機1機が旋回していた。

3日目の夜半、「加茂丸」が炎上している。翌早朝に「富士丸」が魚雷攻撃を受けて大音響を立てると阿

鼻叫喚、私は海中に投げ出された。ボートに飛び移り「富士丸」から少しでも遠くへとボートを漕ぐ。「富士丸」は船首を直角に天に向け潮を吹きながら一瞬にして海中に没した。「富士丸万歳」と叫ぶ声を聞き、私も大きな声で「万歳」を叫んでいた。

この光景は今、現在でも目に焼きついて忘れられません。漂流数時間後、救助にきた「鴨緑丸」に乗船し急遽下関港へ。そして神戸港で下船して大津陸軍少年兵学校に第二歩を歩み入れました。その後、上級校の熊谷飛行学校62爆撃戦隊第64振武隊へ。昭和20年8月15日終戦、9月半に復員し下関へ。翌年1月、漁船をはじめ外国航路の船員となり、停年まで頑張つて現在に至りました。

白井 悠さん 四日市市



沈んでいく船や魚雷攻撃を受けて炎上する船など、当時の海上の情景がとてもしアルに描かれていて恐ろしかった。戦没船員6万余人といった人数の多さにも驚かされました。(鳥羽商船高専4年生)

笹野恵子さん 下関市



戦争の悲惨さを知ることが少なくなった今、身近な所でこのような戦時徴用船の記録画を見ることができてよかったです。船が沈んでいくところ、その後の救出の様子などが見られ感動しました。

次世代に教え伝えていくことも必要だと改めて思いました。

松井由美子さん 北九州市

子どもたちに、祖父が戦死した時の話を聞かせてきましたが、写真などもなく様子を見せてあげることができませんでした。今回、このような絵画を見せることで戦争の悲惨さを伝えることができました。絵画を見て、多くの戦没船員の鎮魂と冥福を祈らずにはいられません。貴重な作品を見せていただきありがとうございます。

投
稿

記録画展を見て

知らなかった重大な歴史

杉田光二さん
下関市

作品の一枚一枚には、失われた我が国の数々の船舶と人命への限りない愛惜の情が脈打っている。船と運命を共にする船長、機密を生命より大切に守る事務長、乗客に席を譲って自ら海中に身を投ずる船員、はたまた敵兵までも救助するボートの人びと……。ああ、大海のもくずと消えた尊い6万余人。あの戦さえなければそれら海の男たちは家族と共に幸せな日々を送ることができただろうに、そう思うと胸が切なくなる。

それにしても、その数6万余人、2500隻とは何という多さだ。こんな重大な歴史の真実は、これまでほとんど知らされなかったのではないか。わずかに戦艦「大和」や「対馬丸」などの一部しか報道されてい

ないのだ。ましてや木造船までが米国潜水艦に魚雷攻撃されていたなんて。しかも、非武装の商船を無差別に沈めるやり方は、原爆をはじめ日本本土への徹底した空襲と全く共通しているのに憤りを禁じ得ません。貴会がこれら歴史の真実をもっと広く人びとの心に刻みつける運動をされんことを切望します。我われがそうしなければ、海底に眠る英霊たちは、決して安らかに身を横たえることはできません。

今また、日本はソマリア、パキスタンへと自衛隊が海を越えて進出している。英霊たちは何と見ていますよ。決して波静かとは言えない我が国の状況を……。



魚雷攻撃によって棒立ちになり、船尾から沈没する「ぶら志る丸」

話したがらなかった父

田中弥生さん 北九州市

戦前・戦中と、父は三井物産に勤めていて、当時3歳だった私と1歳の弟、母とおばあちゃんを残して南方へ。会社の支店を渡り歩いたとのことでした。私も弟も父の顔を覚えていませんでしたが、帰国後、中学の頃に「どうしてもっと早く帰れなかったの？」と父に聞いたら、「終戦直後は船が一つも残ってなかったから」という一言を覚えています。南方へは、門司港から乗船して船



下関市民会館での絵画展には、練習船実習中の東京海洋大学の学生たちも大勢来館しました

団に囲まれて行ったとのことでしたが、南方での生活を含め、戦時中のことはあまり話したがりませんでした。私が大人になって「一度南方を旅してみたら」と言っても行こうとはしませんでした。

父が「北陸丸」とか「高千穂丸」、「ぶらじる丸」とか「せりあ丸」という船の名前をいろいろ話していたことを思い出しますし、当時、軍の徴用船だったと聞いたことが頭のすみに残っています。もっと話し辛いこともあえて聞いておくべきだったと思います。後のまつりです。

父は引き揚げ船で帰ってきたときにマラリアにかかっていた、日々の生活に追われ、食料も何もない大変な時期でしたから、振り返る余裕すらなかったのかもしれない。日本に帰り着いたときに、私たち母子の疎開先すら知らなかったと言いますが、知らせる手段が何もなかったのだと思います。門司港の私たちの家は軍の命令で取り壊しになって、私たち母子はまったく知らない田舎に強制疎開させられていたのです。

この記録画を見ると、当時の門司港やその後の生活のことなど、いろいろ思い出して泣けてきます。

関門海峡で魚雷の爆発があったことも思い出します。門司港には、母に連れられて多くの人びとの見送りに参りました。船が着くたびに日の丸の旗を持って……。

戦争中、民間の商船漁船に 何が起こったのですか？

K R Y 山口放送が 電話インタビュー

昨年8月24日から31日まで、山口県下関市民会館で「戦時徴用船遭難の記録画展」を開催しました。初日午前8時40分、K R Y 山口放送のラジオ番組「おはようK R Y」の若井典子アナウンサーが、オープン準備中の齋藤清伍常務理事にスタジオから電話インタビュー。これを聞いて会場に駆けつけた人もいました。



電話インタビューに答える齋藤常務理事

——下関市民会館では、今日から

「戦時徴用船遭難の記録画展」が開かれています。大阪商船、現在の(株)商船三井の嘱託画家、大久保一郎氏(故人)が太平洋戦争中、次々と空

爆などで沈められていく商船から生還した乗組員の証言をもとに、厳しい統制の下で密かに描き残した記録画37点を展示しています。主催は、太平洋戦争中に犠牲となった民間船

の戦没船員と戦後の殉職船員の慰霊・顕彰を行っている財団法人日本殉職船員顕彰会です。それでは常務理事齋藤清伍さんに伺います。

齋藤さん、おはようございます。

戦争中に民間の商船や漁船に何があったのでしょうか？

齋藤 ■ はい、おはようございます。昭和16年12月8日に太平洋戦争が始って以来、商船の被害は予想をはるかに上回り、わが国商船を中心とする物資輸送船団が壊滅していきましました。その背景と要因はいくつかあります。米国は戦争に備え、自国の船を守るために軍艦、空母など約2百隻超の船を準備していました。これに対してわが国は、戦争が始まった時に民間輸送船を守る艦船は僅か

4隻という、なきに等しい状態でした。陸・海軍の作戦行動に徴用された商船や漁船は7千隻を超えと言われています。兵員や物資輸送にあつた徴用船には護衛艦がついたものの、資源輸送などの商船は単独航海を強いられ、潜水艦の魚雷攻撃や飛行機による爆撃で次々に撃沈しました。商船、漁船を問わず、船という船はすべて軍に徴用されて沈没していったのです。

わが国の海運水産界は、6万人以上の戦没船員と船舶約7千隻、880万トンを超える犠牲を出しました。山口県では2270人が戦没船員名簿に掲載されておりあります。

——大久保画伯が記録画を描いたきっかけは何でしょうか？

齋藤 ■ 当時、会社の岡田永太郎社長から、失われていく船舶の記録を残すようにとの指示があつて、生還した帰国船員の生の話を聞きながら

描き始めた記録されています。

——記録画の一つひとつから、何とも言えない胸が締めつけられる叫びが聞こえてきます。

齋藤 ■ はい、この記録画展をより多くの人々にご覧いただいで、二度と戦争を起こしてはならない、海の平和、世界の平和を守ることを考えてほしいと願っています。

入場は無料で資料も差し上げています。また、希望される方には、犠牲となった戦没船員が乗っていた船の状況などの調査もしています。

——ありがとうございます。「戦時徴用船遭難の記録画展」は、今日から31日までの8日間、下関市民会館で開催されています。会期中、会場では記録ビデオの上映や遺族関係者の相談コーナーなども開かれていますので、ラジオをお聞きの皆さん、ぜひお出かけください。

行幸啓お成りの碑

神奈川県へ寄付・採納 手続きを終了しました

啓天皇皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ執り行われた昨年の戦没・殉職船員追悼式(6月4日)は、これに先立ち第40回の節目を迎えて「行幸啓お成りの碑」の除幕式を行いました。戦没船員の碑をはじめ、これまでの4つの石碑はすべて神奈川県に寄付し採納されています。今回もこれにならいうちの手続きを行いましたところ、12月10日付で松沢成文神奈川県知事より「皇室の方々の来訪の歴史を広く来園者に周知するために活用させていただきます」との通知を受け、寄付・採納の手続きを終了いたしました。



戦没船員の碑 広場

海の日清掃



毎年、「海の日」または前後の休日に横須賀海洋少年団と日本殉職船員顕彰会の役員との合同で「戦没船員の碑」と周辺広場を清掃し、慰霊の献花を行っている。昨年は1週間繰り上げた7月11日(日)に実施された。6月4日の第40回追悼式から1カ月余り、団員たちは梅雨時に生い茂った雑草を鎌や素手で懸命に引き抜いたり、碑文石周辺を水洗いして清めた。

昨年は、日程を1週間繰り上げたため、まだ梅雨が明けぬ蒸し暑い中、高学年の団員たちは鎌を使い、低学年の団員たちは素手で草むしり。草むらから飛び出すバッタやゴキブリ、だんご虫やミミズにびっくりしながら懸命に草を引き抜いた。

昨年完成した真新しい「行幸啓お成りの碑」では、台座についた泥を丁寧につき取り、碑文石や御製碑、御歌碑の表面も拭い、文字にたまった埃や塵を指でかき出した。

海洋少年団の12人の団員と保護者や指導者、当会役員が力を合わせた作業を終えると、戦没船員の碑とその周辺広場は、落ち着いた清らかな美しさを取り戻した。

かすみにけむる沖ゆく船を望みながら、団員たちが磨き上げた碑に向かって、参加者全員で献花を行い、「海の日」清掃を終えた。



今年も12人の海洋少年団員が駆けつけた



清掃に精を出す団員たち

その後、「トンビが、お弁当をねらって上空に飛んできたら、けがをしないように気を付けてください」と公園放送が入ると、タイミングよくトンビが飛んできた。「トンビもお昼の時間をよく知っているんだね」と話しながら、団員たちはきれいにした広場でお弁当を囲んだ。お弁当を食べながら、小学生の団員たちに今日の感想を聞いた。

◎ 中島 秀さん (4年生)

「ここは戦争や事故で死んだ船員さんたちのお墓なんだ」とおとしのお掃除のときに教わった。家では2カ月に1回ぐらいしかお掃除のお手伝いはしないし、草取りもしたことがなかったから、今日は疲れた。でも、とってもきれいになったから、気持ちがいい。

◎ 小倉悠輔さん (6年生)

海洋少年団では、ロープの結び方や手旗信号を習っている。カッター練習は厳しいけれど、一番楽しい。「海の日」にする戦没船員の碑の清掃は、3年生の時から参加しているので慣れてきたが、やっぱり大変だ。ただ、みんなと一緒に掃除するのは楽しい。今、6年生なので来年中学校に行ってもできるなら続けたいと思う。

戦没船員の碑の由来は、昨年、顕彰会のおじさんから詳しい説明を聞

いたのでよく知っている。海が、ずっと安全で平和だいいと思う。

◎ 赤羽夏季さん (3年生)

「海の日」の清掃は、海洋少年団のみんなと一緒に楽しい。

今、ぼくは来年も海洋少年団を続けるかどうか迷っているが、来年の「海の日」の清掃は必ず参加したい。

◎ 二本柳美穂さん (4年生)

家には庭があつて、草取りのお手伝いをいつもやっているけれど、虫が大嫌いなので、虫が悩みです。

「海の日」の清掃には、3年生の時から来ていて、とても楽しい。

昼食を終えて、齋藤常務理事は団員の皆さんに「今日は暑い中のお掃除お疲れさまでした。戦争や事故で亡くなった船員さんたちも、すつかりきれいになって喜んでくれることでしょう」とねぎらいの言葉をかけ、エコバックとお魚消しゴムをお土産に解散。「僕の消しゴムはペンギンだ」「私のはラッコよ」と団員たちが話しながら帰途につく頃、雨がぱつりぱつりと降り始めた。



「海の日」の清掃を終えた。...



終戦記念日に役職員と関係者が献花を行った

観音崎「戦没船員の碑」 終戦記念日献花式

8月15日の「終戦記念日」に毎年横須賀市観音崎公園の「戦没船員の碑」前で挙行される献花式典は、昨年(平成22年)も執り行われました。式典の進行は、例年どおり正午から武道館で行われる政府主催「全国戦没者追悼式」に合わせて行われ、当会役職員のほか、海事関係者や当会役員経験者など約30人が参列。慰霊碑に献花し、全員で黙祷を行って戦没船員の御霊に祈りを捧げ、海洋永遠の平和を誓いました。

寄付金

平成22年7月以降、次の皆様からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 宮川積様(平塚市) ○海友会様(高知市)
- 広瀬克英様(下関市) ○竹下様(下関市)
- 入江ゆきひさ様(下関市)
- 山本鼻子様(下関市)
- 内田研一様(下関市)
- 中村幹彦様(神戸市)
- 戸高照二様(東京都大田区) 順不同
- 米山隆昭様(東京都北区)
- (財)日本船員福利雇用促進センター様(東京都中央区)
- 都竹利年雄様(東京都杉並区) 順不同

終戦記念日 供花料

新加入会員ご紹介

当会は、主要な海運会社や関係団体等の法人と個人の賛助会費、協賛会費、基本財産の運用収入等で運営されています。しかし、近年の金利の減少や海運会社の合理化に伴う法人賛助会員の減少により、大変厳しい運営を強いられています。

そのような中で、ご遺族や関係者の篤志による▽個人賛助会員制度

ご厚情に感謝申し上げます

(年1口1万円)と▽協賛会員制度(年1口3千円)は、戦没・殉職船員の慰霊・顕彰、ご遺族の援護事業を支える大きな力になっています。平成22年7月以降、次の皆様に賛助会員・協賛会員として加入いただきました。厚く御礼申し上げます。なお、協賛会費は加入の月から1年間です。その後は加入月の都度ご

案内いたします。

また、個人賛助会費は毎年4月にご案内しますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◆賛助会員

○齋藤清伍様(千葉県)

◆協賛会員

- 橋本英樹様(神戸市)
- 森積夫様(下関市)
- 重次彰芳様(下関市)
- 勝岡 功様(下関市)
- 広瀬克英様(下関市) 順不同

海見ゆる鎮魂の碑に集う

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り挙行した「第40回戦没・殉職船員追悼式」がDVDになりました。今回の式典をはじめ追悼式の歩みなど、次の内容で構成されています。

- 参列した遺族の声
- 追悼式の歩み
- 「行幸啓お成りの碑」除幕式
- 第40回戦没・殉職船員追悼式

DVD完成

DVD「海見ゆる鎮魂の碑に集う」(約25分)は、好天に恵まれ、鮮明で臨場感あふれる作品になりました。

ご希望の方には、1枚1000円(送料込み)で頒布いたします。「郵便振込口座番号0180-4-31985日本殉職船員顕彰会」あてお振り込みください。

なお、DVDの発送は1月末、2月末、3月末の3回です。各月の申し込み分を月末に取りまとめて、一括配送しますので、月中に振り込みをされても各月末まで送付できません。お待ちいただくことをご了承ください。

詳細、お問い合わせは、03(3234)0662へ

殉職船員慰霊祭

北九州市門司区

昨年7月14日、北九州市門司区の真光寺で同市海の日協賛会が主催する「殉職船員慰霊祭」が海事関係者ら約50人の参列の下で行われた。日本殉職船員顕彰会から齋藤清伍常務理事が出席した。

梅雨前線の影響で大雨になったこの日、開式の頃には雨も上がり、海員組合九州関門地方支部の内間順伸執行部員の司会で式典が開始した。主催者を代表して、同地方支部の浜田俊英地方支部長代行が「先の大



真光寺で行われた殉職船員慰霊祭



明石与次兵衛塔前で海上安全祈願を行った

戦で6万余人の船員が尊い犠牲となられました。また、近年はソマリア沖で海賊船が出没し、日本の商船隊は、海上自衛隊艦船の護衛を受けながら航行する状況になっています。私たちは、海が安全な職場になるよう、引き続き活動してまいります。殉職船員の御霊の安らかなることを祈ります」と開式の辞を述べた。続いて、九州運輸局福岡運輸支局の押井和徳次長が追悼の辞を述べた後、参列者全員で焼香を行い、殉職船員の御霊に哀悼の誠を捧げて人類永遠の平和と安全な海を願った。

慰霊祭終了後、同地方支部執行部員のほか海事関係者が、近くの「明石与次兵衛塔」に赴き、海上安全祈願を行った。通常ならば慰霊祭の終了後、全員で海上安全祈願も行うことが恒例だが、この日は梅雨前線による大雨警報にしたがい一部参列者で執り行われた。

また、同寺境内には、太平洋戦争中に関門海峡とその周辺で殉職された300人を超える無縁海事従事者を祭った「殉職船員無縁塚」があり、海上安全祈願の参加者は無縁塚においても御霊の冥福をお祈りした。

この無縁塚は、昭和21年1月に真光寺と海事港湾関係者の手により同寺境内に建立された。その後、諸事情により平成12年3月、財団法人日本殉職船員顕彰会はじめ海事関係者の浄財と門司区の協力を得て、朝夕なに海峡を眺望できるこの地に移設され今日に至る。



殉職船員無縁塚

全国の慰霊祭へ 献花で慰霊

昨年、全国各地で執り行われた殉職船員慰霊祭、物故船員慰霊祭に対して、鈴木邦雄会長名で献花を行いました。

*

○物故船員慰霊祭

7月2日 横浜市・赤門東福寺、
「海の月間」横浜地区実行委員会

○殉職船員無縁塚慰霊祭

7月14日 北九州市・真光寺、北九州海の日協賛会

○物故船員合同慰霊祭

8月20日 小樽市・手宮公園、小樽船員OB会

○海の殉難者慰霊祭

8月30日 気仙沼市・向ヶ森慰霊碑前広場、唐桑町海の殉難者慰霊碑保存会

○物故船員慰霊祭

10月21日 福岡市・光雲神社（西公園）、福岡海寿会

○久田船長碑前祭

10月29日 石川県能登町・久田船長石碑前、久田船長顕彰会

遺族からの便り

戦没船員の調査

橋本 秀樹

初めてお便りをさしあげます。私の母方の祖父もやはり戦没船員です。幼少の頃より祖母から、祖父についての断片的な話は聞いていました。しかし、他の方と同じように自分のこと、仕事のこと、明けて暮れて、祖父のことを顧みる余裕はありませんでした。

最近になって祖父への思いが募り始め、祖父のことを知りたいと思うようになりました。ウェブでいろいろ探していたところ、貴会のことを知り、問い合わせをさせていただいた次第です。



最近になって祖父を偲ぶという橋本さん

祖父の名前は鳥取賢亮（とっとりたかすけ）と申します。南洋海運の船長でした。また、祖母の兄は日本郵船の機関長でした。当時、祖父たちは神戸の会下山（えげやま）に住んでおり、田中さん？という「浅間丸」の Cock さん夫妻を家に住まわしていたそうです。祖父は太平洋戦争の半ばには引退していたと聞いていますが、南洋方面に詳しい人がもう他にいないという理由で徵用されました。昭和19年初頭にニューギニアの北の海で、乗っていた船が空爆と魚雷により撃沈され、52歳で戦死したと聞いております。

調査結果の報告

遺族からの便り

被弾後、存命でしたが、救命ボートに一度は降りた後、何かを取りに行くと行って一人で船に戻りました。船が沈むかもしれないため、救命ボートは祖父を残したまま船を離れたとも聞いておりますが、伝え聞いた話ばかりで曖昧模糊としていて心もとなく思っています。

また、母も自分の父親の死亡した経緯を詳しくは知りません。もし、貴会において、私の祖父に関わる記録がありましたら、ぜひお知らせいただきたく存じます。また、貴会の協賛会員に登録させていただきたいのですが、申し込み方法など資料をお送りいただけますようお願い申し上げます。

お忙しいなか恐縮に存じますが、よろしくお願い申し上げます。

日本殉職船員顕彰会の事業の一つに「殉職船員の功績等の調査及び名簿の作成」があります。殉職船員に戦没船員が含まれることは当然のことです。

橋本様への報告を紹介し、調査を希望される方の参考にしていただければ幸いです。（事務局）

鳥取賢亮様のお名前を手掛かりに調査しましたところ、当会の「戦没船員名簿」に掲載され、神奈川県横須賀市の観音崎公園にある「戦没船員の碑」に奉安されていることがわか

りました。毎年5月中旬に「戦没・殉職船員追悼式」で慰霊祭が挙行されていることをお知らせいたします。また、靖國神社へ照会したところ別紙（省略）の回答がありました。鳥取賢亮様は、当会の資料では明治海運株式会社所属の「明昭丸」に甲板長として乗船され、本船は昭和19年1月16日、敵機による空爆を受けてビスマルク諸島のチンウオン島北西30キロメートル付近で戦没されています。橋本様のお手紙にある会社名および職名とは異なっております。また、鳥取賢亮様が「明昭丸」の沈没時、一人で船に戻られたとの記録も残念ながら見当たりませんでした。あわせてご了承ください。関係資料を送付いたしますのでご査収ください。当会は、先の大戦で軍属として海上輸送に従事し、尊い犠牲となられた戦没船員と主に戦後の海難等で、同様に尊い犠牲となられた合計6万3千余人の慰霊・顕彰のため、海運・水産業界関係者によって昭和56年に設立された財団法人です。これを機会に橋本様を当会の協賛会員ならびに遺族名簿にとどめさせていただきます。毎年5月中旬に執り行われる、追悼式のご案内や広報紙「潮騒」等の刊行物を送付させていただきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



殉職船員遺族援護事業



みんなの お便り

□ 阿部 悦子さん 宮城県

日々ありがとうございます。

体育祭、新人戦が終わり、ようやく一息ついているところです。男の子は小さなけがや故障が多く接骨院に通いっぱなしです。援護金大切に使用させて頂きます。

□ 大竹 初美さん 三重県

いつも送金ありがとうございます。

夏休みが終わり早や一カ月がたちました。学校の生活リズムにも慣れはそろそろ受験勉強を開始しないといけないと言っていますが、次女は毎日遊んでばかりです。

□ 中野 幸枝さん 宮城県

いつもありがとうございます。

□ 岡元 美紀さん 高知県

いつもありがとうございます。

今年は大変暑かったのですが、夏休みも毎日補習とクラブ活動にがんばっています。今は文化祭の準備で

いそがしいようです。

□ 鎌野 智美さん 徳島県

秋らしくなってきました。

お世話になりありがとうございます。元気で過ごしております。

□ 高橋 弘子さん 宮城県

いつもありがとうございます！

この夏の猛暑で皆様体調いかがですか？石巻もやっと先週あたりから涼しくなってきました。

倭は、夏休みから9月中頃までクラブのテニスの試合があり、仙台市内を飛び回っていました。体中真っ黒に日焼けして、身長もまた少し伸びたようです。兄の飛翔を追い越してしまつたので、本人はとてもうれしいと言っています。

今年からテニスを始めたのですが、友だちがたくさんできたようで、学校に行くのが楽しいようなので安心しています。でも、以前のようになかなか勉強に力をいれてくれません。おだててもほめても効果なしで困っている今日この頃です。

高校生になって思う

宮城県 高橋 倭 さん



高校生になってテニスの部活に燃える

今年の春、高校に入學したと思つたら早いもので、あつという間に二学期が終わろうとしています。

の相手をしてくれるやさしい兄です。友人たちは、部活以外にもテニススクールに通つていても上手なので、僕は少しでも上手になつて彼等とプレーできるように、休みの日も部活に行っています。

中学校は家から遠かったので部活に入ることもなく、三年があつという間に過ぎてしまいました。

母には勉強もせずに部活に熱中していると毎日叱られますが、今の目標は3年間部活をやり遂げること、大学に行くことの二つを目標にスタートしたところです。

この間、友人たちに何度も入部を誘われましたが、断り続けていました。

まだ、将来希望する職業は定まりませんが、高校生活の中で見つけたと思つています。

高校生になった今、このまま部活を経験することもなく

高校生になったこれからは、大人としてのスタートなので、自分で考えて自分の人生を歩んでいきたいと思つています。

常務理事 就・退任のあいさつ

退任



齋藤 清伍

この度、5年7カ月にわたってお世話になりました日本殉職船員顕彰会常務理事を退任することになりました。この間、ご遺族関係者をはじめ多くの方がたにご支援ご厚誼を頂き、改めて厚くお礼申し上げます。

平成17年5月顕彰会に勤めて以来、同年7月の遺族の集い、10月の戦没船員の碑ご供花、昨年6月の第40回追悼式典行幸啓と3回にわたり、天皇皇后両陛下にお目にかかれたことは、この上もない幸運なことであったと改めて感じているところでございます。

船員として20年船に従事し、その後全日本海員組合、船員福利雇用促進センター、そして当会殉職船員顕彰会と勤務し、すべて海と船に係る恵まれた職業に従事することができたと感謝しております。

特に顕彰会では戦没船員、殉職船員ご遺族の方々とお会いして、いろ

いろのお話を聞くことができ貴重な体験になりました。また、戦時徴用船遭難の記録画展など、地方でご遺族の方がたの心情をお伺いし、経験したことのない心の持ち方、考え方を教えていただきました。

就任以来、皆さんのお役に立てればと思いつながら今日まで勤めてまいりましたが、十分な成果を得ることはできませんでした。およばずながら公益財団法人への移行認定が早期になされること願ってやみません。日本殉職船員顕彰会の益々の活躍を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。

就任



上野 朝雄

会員はじめ関係者にお馴染みだった齋藤常務理事が昨年11月末日を持って退任し、12月1日付で就任いたしました。

社会情勢の変化や厳しい経済情勢に陥っても、決してないがしろにできない戦没船員と殉職船員の追悼と

顕彰、ご遺族への援護という重要でかけがえのない事業に携わることとなり、身が引き締まる思いです。

前任者をはじめ、40年もの長きにわたる事業運営に尽力された諸先輩の航跡を外すことのないよう、職務を全うしたいと考えます。

約13年の外航船員経歴と7年余の海船員保険会勤務を含む計28年余の海



新職員



清水 教代

12月1日から顕彰会の事務局に勤務することになりました清水です。昨年6月に行われました第40回戦没・殉職船員追悼式をお手伝いしたことがご縁となりました。

猛暑の中、大勢の皆様が参列され、中には遠方から飛行機でお越しの方にもお会いしました。ご遺族にとつて大切な追悼式に参加できてうれしく思っております。これからは少しでも皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

編集後記

員組合執行部経歴が本会事業に少しでも生かせるよう邁進したいと考えます。本会事業の九割が公益事業であることから会員ならびに関係諸団体や篤志家のご支援を仰がねば進めることができません。今後ともこれまでに変わりにないご協力をお願い申し上げます。

◇初日の出 トップ写真は昨年元旦、千葉県房総半島東岸で撮影したもの。二年越しの計画で、2台のカメラを用意して早朝から準備したが、デジカメの撮影に失敗（原因は明かせず）。フィルムに持ち替えたものの、チャンスを待つ手がかじかんでシャッターが切れない。そんなときカモメの飛来によって一面を飾る一枚となった。

◇タスキリレー 20年前、仲間たちと「海員まんぼうクラブ」を創設、あちらこちらのマラソン大会に参加した。上野氏とは駅伝レースで何回となくタスキを継ぐ仲である。懸命に走った末には頼むと思う瞬間、無事にタスキをつなげた喜びは計り知れない。今回の引継ぎもいささかそんな気がする。今後も引き続き皆様ご安心いただけるようなゴールを目ざして頑張ってほしい。（齋藤清伍）